

■ 主な特徴

- ・ 入力電圧ユニバーサル設計
- ・ 出力電圧設定可能(0%~105%)
- ・ 出力電流設定可能(0%~105%)
- ・ 高出力密度 16.3W /inch³
- ・ 並列運転時強制電流共有機能搭載
- ・ 定電流出力制限
- ・ 補助電源出力+5V / 0.5A、または+9V / 0.3A 選択可能
- ・ RS-232、RS-485 と I²C 介し複数台リモート設定可能
- ・ POWER OK 信号
- ・ リモート ON/OFF、リモートセンサ機能
- ・ 過電圧、過負荷、過温度、短絡、ファンエラー保護回路



■ 仕様

型式	AEK-3000-150	AEK-3000-200	AEK-3000-250	AEK-3000-300	AEK-3000-400	
出力	DC 電圧範囲	150V	200V	250V	300V	400V
	定格電流	20A	15A	12A	10A	7.5A
	電流範囲	0~20A	0~15A	0~12A	0~10A	0~7.5A
電力	定格電力	3000W				
	リップルノイズ (最大値)*1	1500mVp-p	2000mVp-p	2500mVp-p	3000mVp-p	4000mVp-p
	電圧可変範囲	±5.0%平均値 ポテンショメータによる調整 (VR1)				
	電圧誤差範囲*2	±2.0%				
	入力変動	±1.0%				
	負荷変動	±1.0%				
	起動時間	800ms、50ms(フル負荷時)				
	保持時間(平均値)	14ms/230Vac(フル負荷時)				
	電圧範囲*3	90~264Vac、127~370Vdc				
	周波数範囲	47~63Hz				
入力	力率(平均値)	0.95/230Vac、0.98/115Vac(フル負荷時)				
	効率(平均値)	93%				
	AC 電流(平均値)	19.7A/115Vac(2000W)、14.5A/230Vac(3000W)				
	突入電流(平均値)	33A/115Vac、65A/230Vac				
	漏洩電流	<1.0mA/240Vac				
保護	過負荷	定格の 105%出力電力		保護形式：定電流制限		
	過電圧	可変過電圧保護 120±7% Vout.		保護形式：ラッチスタイル(AC 入力再投入で復帰)		
	過温度	85±5°C(NTC サーミスタによる検出)		保護形式：温度低下で自動復帰		
機能	補助電源	+5V / 0.5A、または+9V / 0.3A 選択可能				
	リモート ON/OFF 電源制御	外部スイッチ				
	POWER OK 信号	電源が ON 時、開放ドレイン信号低下。最大シンク電流：20mA。最大ドレイン電圧：40V				
	出力電圧調整	定格出力電圧の 0~105%を調整可能				
	出力電流調整	定格出力電流の 0~105%を調整可能				
動作環境	並列運転(電流共有)*4	可				
	動作温度	-20~60°C (ディレーティングカーブをご参照ください。)				
	動作湿度	20~90%RH (結露なきこと)				
	保存温度、湿度	-40~85°C、10~95%RH				
	温度係数	±0.02%/°C (0~50°C)				
安全規格	耐振動	10~500Hz、5G 10min./1 cycle、60 分 XYZ 各方向、IEC60068-2-6; IEC60068-2-64 準拠				
	安全規格	EN 62368-1, UL 62368-1 認証				
	耐電圧	I/P-O/P:3kVac(4242Vdc), I/P-FG: 1.5kVac(2121Vdc), O/P-FG:0.5kVac(707Vdc)				
	絶縁抵抗	I/P-O/P, I/P-FG, O/P-FG: 100MΩ / 500Vdc				
	EMC	EN 55022; EN 61204-3; EN 61000-6-3認証				
その他	高調波電流	EN 61000-3-2; EN61000-3-3認証				
	EMS イミュニティ	EN 55024; EN61204-3; EN 61000-6-1; IEC 61000-4-2, 3, 4, 5, 6, 8, 11認証				
	冷却	負荷、温度連動ファン				
寸法	寸法(W×H×D)	170×64×280 mm				
	重量	3.8 kg				

※ 筐体なしにて測定しています。記載なきものは、入力 230Vac、定格負荷、外気 25°C環境にて測定しています。

※ 電源は装置に組み込まれる部品としてみなされます。組み立て後の装置にて EMC 指令に適合するか再確認を行ってください。

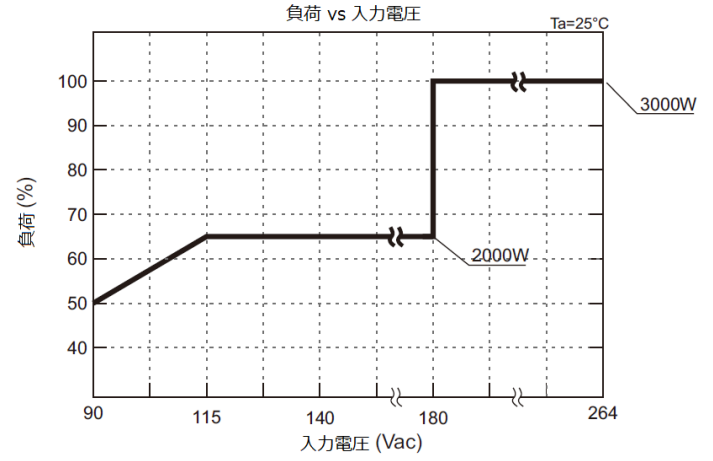
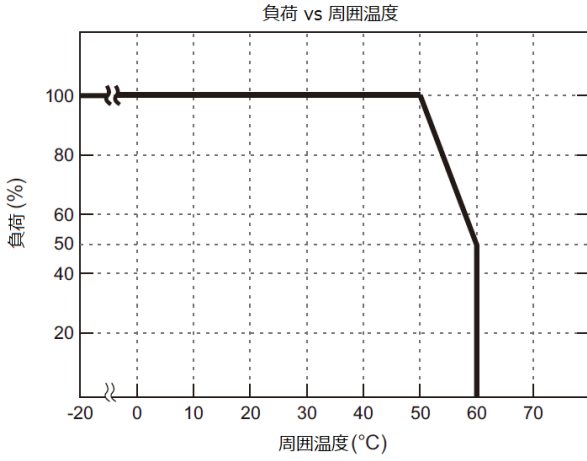
※1 リップルノイズ測定は、0.1μF と 47μF のコンデンサを並列で終端処理をした、30cm ツイストケーブルを用いて 20MHz で測定しています。

※2 誤差：立ち上がり時間、入力変動、負荷変動誤差を含みます。

※3 入力電圧の低下により、ディレーティングを起す可能性があります。詳細はディレーティングカーブをご参照ください。

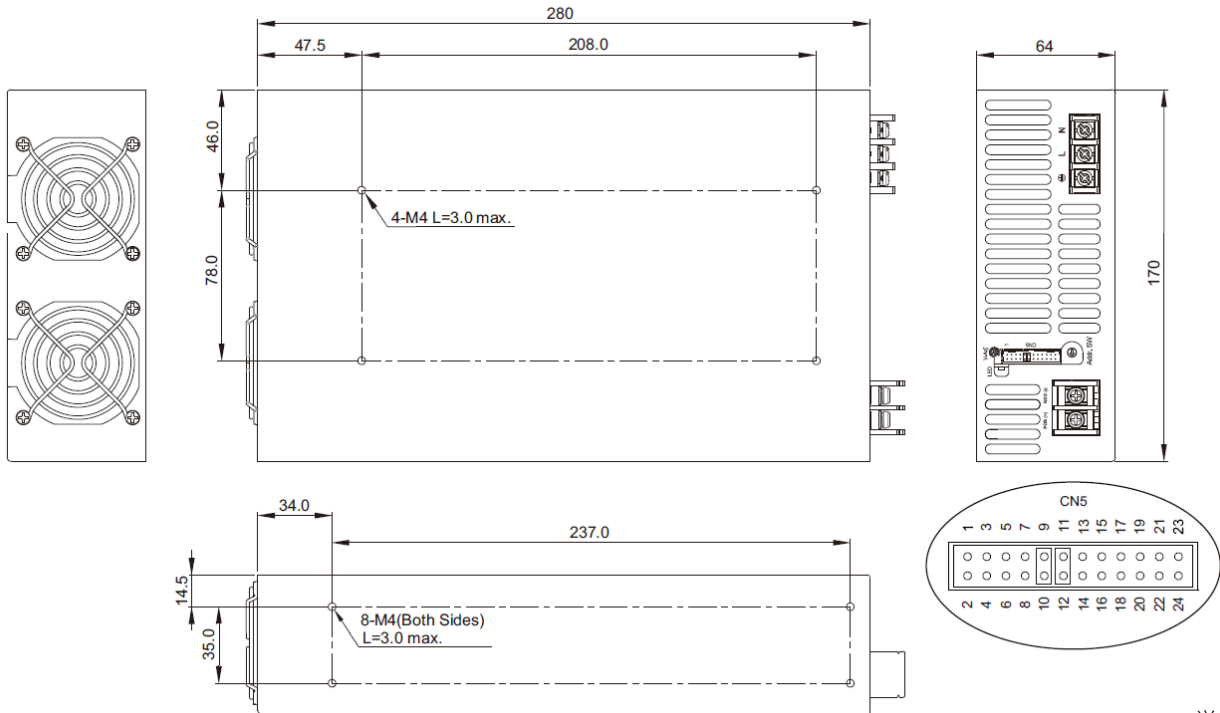
※4 並列運転時に負荷が定格の 5%以下の場合、動作は一台のみになります。

■ ディレーティングカーブ



■ 外形寸法

※推奨ネジ長さは、電源の筐体表面を基準とします。



単位：mm

■ 推奨取付方向

※推奨ネジ長さは、電源の筐体表面を基準とします。

1. 水平設置

2. 垂直設置

